

時制の間違いやすい用法



1 現在形の間違いやすい用法

1 条件や時を表す副詞節

27 If it rains hard, the hike will be canceled.

75

大雨の場合、ハイキングは中止になる。

28 What will you do after you finish classes tomorrow?

76

明日の授業が終わった後は何をやるのですか。

29 We will start the meeting when she arrives.

77

彼女が来たら、会議を始めよう。

条件や時を表す副詞節内では、未来を表す場合でも動詞は **will** を使わず、現在形（時に現在完了形）が使われる。

類例 Before you visit his house this afternoon, be sure to drop by at the bookstore.

今日の午後に彼の家を訪ねる前に、本屋に立ち寄るのを忘れないでね。

If you see Mr. Shinoda at the school tomorrow, please give him my regards.

明日篠田先生に学校で会ったら、私がよろしく言っていたとお伝えください。

When he comes to the office tomorrow, please tell him that I called.
彼が明日出社したら、私から電話があったとお伝えください。

Please let me know **as soon as** Jim gets back from work tonight.

今晚ジムが仕事から戻ったら、すぐに私に知らせてください。

Is it **okay** if I skip the English class tomorrow?

明日の英語の授業、さぼっても大丈夫かな。

If it **snows** tonight, I'll go skiing tomorrow.

今晚雪が降ったら、明日はスキーに行きます。

Unless we **hear** from you by April 12, we will have to close your account. 4月12日までにご連絡をいただけなければ、お客様の口座を閉鎖しなければならなくなります。

2 その他の現在形の用法

30 Here **comes** the train. Stay behind the yellow line!

78

ほら、列車が来る。黄色い線の内側に下がりなさい。

31 The man **jumps** in the car and **speeds** away.

79

男が車に飛び乗り走り去る。

現在形の特殊用法で、**目の前**で不意に始まり瞬間に終わってしまう動作を表す。30のように、〈**Here [There] + V + S**〉の形で、come [go] などの動詞を伴い、**目の前**で〈到着〉や〈出発〉の出来事が起きていることを感嘆などの気持ちを込めて表すことがある。

また31のように、テレビの実況中継や芝居のト書き、料理番組での手順説明など、**目の前**で起きている状況を描写するときには、よく現在形が使われる。

類例 Soto **hits** it hard to right-center field ... and it's a home run!

ソトが強い打球を右中間に打ち上げて…何とホームランです。

Put chopped onion into a pan and **fry** it until golden brown.

タマネギのみじん切りをフライパンに投入し、飴色になるまで炒めます。

3

時制(1)

【!】 小説などで過去の出来事を描写する時に、まるで**目の前**で起きているかのような印象を与えるために現在形が使われることがある。これは**歴史的現在**と呼ばれる。

It is a beautiful summer day. People **gather** in the street and **wait** anxiously for the parade to come.

うららかな夏の1日、人々は通りに繰り出し、パレードの到来を今か今かと心待ちにする。

2 未来を表すその他の表現

32 The Prime Minister **is to** visit the disaster area this weekend. 80

総理大臣は今週末、被災地を訪問する予定だ。

33 The movie **is about to** start. 映画がまさに始まろうとしている。

81



● **be + to do** (手はずが整っている予定)

(かたく) で公的な予定を表すことが多い。 (→ p.207) (32)

● **be about to do** (もうすぐ「まもなく」…する、まさに…するところである) (33)

〈**be going to do**〉よりもさらに差し迫った近接未来を表す。通例、未来を表す語句を伴わないが、nowとともに用いることは可能。しばしば just が about の前につく。

My flight **is just about to** leave. 私の乗った飛行機はもう間もなく離陸するところだ。

● **be on the point [verge] of doing** (ちょうど…しようとするところだ)

The king is **on the point of** dying [death]. 王は死の床にある。

● **be due to do** (…する予定だ)

His new book **is due to** be published next month.

彼の新刊は来月刊行の予定だ。

● **be likely to do** (…しそうだ)

Ms. Inaba **is likely to** become the next president.

次期社長には稲葉氏が就任しそうだ。

≒ It is likely that Ms. Inaba will become the next president.

Grammar in Writing

生き生きと力強い現在形



英語の現在形には、スパッと言い切って相手に有無を言わせない力強さを發揮する場合があります。

1) Now I go up to the roof and throw the rope, so you stay down here and catch it.

じゃあぼくが屋根に上がってロープを投げるから、君はここに残ってそれを受け取って。手順を説明している場面ですので、go up, stay, catchといった動作は、「これから」行うことです。したがって次のように言うこともできます。

1') Now I will go up to the roof and throw the rope, so you will stay down here and catch it.

しかし、1) のように単純現在形で言うと、「これはもう決定事項です」というニュアンスが強まります。（ここは主語 you を付けた命令文とも考えられますが、断定的なニュアンスは同じです。）

この「決定事項」のニュアンスは「時刻表」の説明では明らかですね。

2) The next train for Tokyo leaves at 2:35.

東京行きの次の電車は2時35分発だ。

「科学的事実」や「確定した未来」といった他の用法でも同じです。

3) Water evaporates even at the freezing point. 水は氷点でも気化する。

4) My daughter turns twenty this year. 娘が今年、20歳になるんです。

「本当にそうかな?」とか「それは認められない」といった思考・判断をする余地が聞き手にはありません。この考える余地のなさは次のような「脅し」のニュアンスにつながります。

5) One wrong move and you are dead. 一歩間違えれば命はない。

Try anything funny, and you are history. おかしな真似をすれば命はない。



Grammar in Writing

描写文の現在形



「思い出に残る風景」というお題で英作文をするとします。

たとえば、次のような文が書けます。

I remember the beautiful scenery of the Seto Inland Sea that I saw from a small town along the sea. The sea water is blue, dotted with small islands like so many green rocks, under a cloudless sky. Fishing boats come and go occasionally, their engines sounding pleasing to the ear. Black kites are circling in the air, and down on the road are strolling cats. The roads are lined with traditional houses, providing the visitors

with a comfortable calmness.

海沿いの町から眺めた瀬戸内海の美しい風景が思い出に残っている。海は青く、雲のない空の下、緑の岩のような小さな島が点在している。漁船が時折行き交い、そのエンジンの音は耳に心地よい。トンビが空中で円を描いて飛んでいて、道では猫がゆったりと歩いている。道沿いには伝統的な家屋が立ち並び、訪れる者に心地よい静けさを与えている。

「思い出」の話なので過去形で書いてもかまわないのですが、このように現在形で書くことでまさに眼前にその風景が広がっているかのように描写することができます。このように情景や事物を描写する文章は現在形が活躍する場の1つです。

事物の描写の例を1つ挙げておきます。

「私の宝物」というお題だとします。

One of my treasures is a stuffed turtle. My mother **bought** it for me when I was four years old. It is not unusual for a four-year old girl to care for stuffed toys, and I was not an exception. My parents and grandparents **bought** me a lot of stuffed animals; a bear, a lion, an elephant, a cat, a dog, a rabbit, and even a snake. Among them, the turtle was my favorite. Girls of the same age **liked** rabbits or bears far better, but for me, the turtle was the best. I **took** it everywhere I went, and I **held** it when I went to sleep every night.

Now I am a high school student and I do not play with my stuffed animals. Many of them are sleeping in the closet. But the turtle is always on my desk. Its green color and round shape **soothe** my heart after a busy day. Its round eyes are cute, though they are not so shiny as before. I **find** myself smiling as I **look** at them. The patterns on its back are losing their color, but when I **pat** it, I **can** still enjoy its softness. Just like the actual turtle, which lives for several decades, I hope this stuffed turtle will be with me forever.

私の宝物の1つはカメのぬいぐるみです。4歳のときに母が買ってくれました。4歳の女の子がぬいぐるみが好きなのは珍しいことではなく、私も例外ではありませんでした。両親や祖父母はぬいぐるみをたくさん買ってくれました。クマやライオン、ゾウにネコ、イヌ、ウサギ、そしてヘビまでも。中でも私はカメが一番のお気に入りでした。同じ年の女の子たちはウサギやクマのほうがよっぽど好きでしたが、私にとってはカメがいちばんでした。どこに行くにも連れていき毎晩寝るときは抱きしめていました。

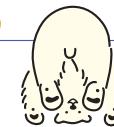
今、私は高校生で、ぬいぐるみで遊ぶことはありません。ぬいぐるみの多くはクローゼットで眠っています。けれどもこのカメはいつも私の机の上にいます。その緑の色と丸っこい



形が、忙しい一日を過ごした後の私の心を落ち着かせてくれるのです。丸っこい目は以前ほどキラキラしていませんが、愛らしいままです。その目を見ていると自分が笑顔になるのが分かります。甲羅の模様は色あせてきていますが、軽く触れると今でもその柔らかさを楽しむことができます。数十年生きるといわれている本物のカメのように、私もこのぬいぐるみのカメがずっと私と一緒にいてくれることを願っています。

過去の出来事を述べている第1パラグラフは過去形を基本としているのに対し、今まだ手元にあるぬいぐるみについて描写する第2パラグラフでは現在形が基本となっています。

Grammar in Writing 「背景」と「前景」



次の和文を英語に訳すとどうなりますか？

主節と従属節の時制に注意して考えてみてください。

- 1) トムとメアリーが外で遊んでいる間に私は部屋を掃除した。
- 2) 私が部屋を掃除している間に、トムとメアリーは外で遊んだ。

たとえばこんなふうに訳せますね。

- 1) I cleaned the room while Tom and Mary were playing outside.
- 2) Tom and Mary played outside while I was cleaning the room.

ここでは、文の中で主たるメッセージの「背景」を示すために進行形が使われていることに注目してください。1) では「外で遊んでいるトムとメアリー」が「背景」で、「部屋を掃除している私」が「前景」です。この文の主たるメッセージは「私が部屋を掃除した」です。たとえば次のような文脈が想定されます。（トムとメアリーは5～6歳くらいの子どもだとしましょう。）

It rained heavily for the last several days. Tom and Mary had to stay in the house and they messed up their room. Today it cleared up, so they jumped off to the yard. While they were playing outside, I cleaned their room.

ここ数日ひどい雨だった。トムとメアリーは家にいなければならず部屋を散らかした。今日は晴れたので2人は庭に飛び出していた。2人が外で遊んでいる間に私は部屋を掃除した。

「子どもたちの部屋を一生懸命片付けている私」
に焦点が当たっています。



これに対し、2) は「トムとメアリー」の方に焦点が当たります。

Tom and Mary asked me to take them to the zoo. But I had to clean up the room before going out. So I told them to wait for me by playing in

the yard. They said OK and went out. They played outside while I was cleaning the room.

トムとメアリーは動物園に連れて行ってほしいとお願ひしてきた。けれども、出かける前に部屋をきれいにしておかなければならなかつたので、2人には庭で遊んで待つておいてと言つた。2人はわかつたといつて外に出た。私が部屋を掃除している間2人は外で遊んでいた。

「庭で遊んでいるトムとメアリー」が前景化されています。

次の対比も見ておきましょう。

3) Frogs came to the yard from nowhere when it was raining.

雨が降っている間に、どこからともなくカエルが何匹か庭にやってきた。

4) Frogs came to the yard from nowhere when it rained.

雨が降ると（いつも）、どこからともなくカエルが何匹か庭にやってきた（ものだ）。

（いちど）雨が降ったとき、どこからともなくカエルが何匹か庭にやってきた（ことがあつた）。

3) は1) 2)と同じく when it was raining が「背景」を表します。したがつて「雨」はあくまで場面設定をしているだけで、焦点は「庭にやってきたカエル」に当たつています。それに対して4) は when it rained という過去形なので、「雨」も「カエル」もどちらも「前景」です。つまり「雨」と「カエル」の両方に焦点が当たつています。おそらく「雨」という条件が満たされたことで「カエル」がやってきた、という関係でしょう。ここでは「雨」と「カエル」はワンセットで主たるメッセージになつてゐると思われます。

こういった進行形の「背景設定機能」を理解すると次の英文の仕組みがよくわかりますね。

5) I was taking a shower when my cellphone rang.

シャワーを浴びてゐるときに携帯電話が鳴つた。

「携帯電話が鳴つた」は文構造上は「従属節」ですが、時制を見ると主節が過去進行形、従属節が過去形です。したがつて「シャワー」が背景、「携帯電話」が前景と解釈します。